



ふくおか [Good] 農業人100

主な農産物／茶(煎茶・かぶせ茶)、キャベツ、ニンジン、ハクサイ

# 原田 竜二さん (34歳) (営農地／筑後市)

## 営業から就農へ。新たな土地で見つけた魅力ある仕事

《就農のきっかけ》

### 農業に魅力を感じて就農を決意

久留米市で生まれ、同市の商業高校を卒業後、同じく久留米にある煉瓦製造会社に就職して働いていた原田さん。結婚を機に筑後市で代々茶を中心とした農業を営んでいる奥さんの家に婿入りしました。結婚当初は、同社の大阪営業所に勤務していましたが、奥さんの勧めもあり、農業という仕事に魅力とやりがいを感じ入社10年で退社、就農し、八女茶の栽培を始めました。初めての土地での、初めての農業、期待の反面多くの不安がありました。そんな不安を吹き飛ばしてくれたのは、いつも明るい笑顔で支えてくれる奥さんと、就農してから産まれた息子さんの存在です。「いつでも家族の存在が自分自身の励みになっています。」

《これまでの過程》

### 多くの人々から刺激を受け成長

大阪から福岡に帰ってきた時、八女茶の栽培は義父が梨・ぶどう栽培とともに行っていました。原田さんが筑後市に戻って就農した後、すぐに茶園管理を任せてくれました。

すべてを任されたことで大変な責任を感じましたが、やりがいをもって仕事に取り組むことができました。農作業自体が初めてのことで、慣れない作業に四苦八苦しながらも少しずつ仕事を覚えていきました。就農して約一年が経った頃、義父の勧めもあり、茶についてもっと多くの事を学ぶべく県農業総合試験場八女分場に一年間研修に行きました。「まったく農業を知らない自分にとって、八女分場は農業の基本から茶業の専門的な知識を教えてもらえる良い学校でした。」と語る原田さん。八女分場では、普段触れることのない分析機具や試験施設、茶関係の書籍に興味津々で、農業の基本だけでなくお茶に関する様々な分野の勉強をすることができました。

また、部会の活動にも積極的に参加し、諸先輩や同世代の生産者との勉強会で多くを学び、刺激を受け、意欲的に仕事をこなしています。



プロフィール

- 家族構成／本人、妻、子ども1人
- 前職／営業(煉瓦製造会社) ■営農年数／約4年
- 耕作(経営)面積／茶(180a)、キャベツ(30a)、ニンジン(10a)、ハクサイ(5a)
- 販路／JA共販、直販

《これからの展望》

### 複合経営で安定農業を

現在、お茶の経営面積はまだ小さく、荒茶工場もないため、お茶は委託加工したものを販売しています。将来的には、面積を増やし、茶工場を建てたいと思っています。

また、お茶専作の農業ではなく、複合経営に興味があります。「お茶が忙しいのは春と夏。冬場はキャベツやブロッコリーなど毎年新しい作物に挑戦しています。」と話す原田さん。サラリーマン経験のある原田さんには繁閑の差のある経営よりも年間を通じて安定した仕事をしたいという思いが強く、作物を組み合わせる計画的な経営を行っています。



### Good 成功のためのポイント

農作業は自然に左右されることが多く、被害を受けることもあります。そのような被害を最小限に抑えるための設備投資をしっかりと行っています。経費もかかりますが、自然の怖さを常に忘れず、異常気象に強い圃場の整備が農作物の安定した収量や品質を確保するために重要になってくるのではと考えます。